



NHO Shibukawa Medical Center

ウイズ

— No.90 —

平成 30 年 4 月 (2018 年)

編集発行

独立行政法人 国立病院機構 渋川医療センター

電話 0279-23-1010
FAX 0279-23-1011

E-mail: shibukawamc@hosp.go.jp
http://www.hosp.go.jp/~shibukawamc/

渋川医療センター 広報誌



渋川総合公園から水沢山を望む

基本理念

北毛地域の基幹病院として地域の医療機関と連携しその役割を果たします。

基本方針

1. 患者さんの気持ちに寄り添った医療を実践します。
2. 十分な情報を提供し、共に考える医療を行います。
3. がん・呼吸器疾患・重症心身障害児(者)の専門病院として社会に貢献します。
4. 地域医療支援病院として、救急医療を含め地域の医療機関と連携し地域医療に貢献します。
5. 生命の尊さと人権を尊重し、安全な医療を提供します。
6. 教育・研究事業に積極的に取り組み、質の高い医療を常に目指します。
7. 良質な医療を継続的に確保するため、健全な経営と適正な運営に努めます。

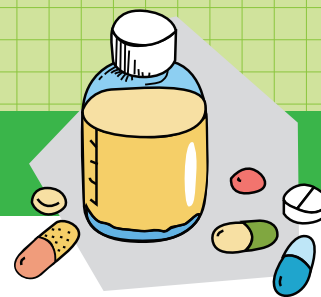
目次

渋川医療センター薬業連携研修会	1
「地域医療支援病院」の役割について	2
看護学生インターンシップを開催して	3
～ボランティア活動紹介～学生さん(渋川青翠高校)からの贈り物	4
看護の日イベントのお知らせ/インターンシップのお知らせ	5
レジナビフェア 2018 スプリング東京に参加して	6

シリーズ

●患者さんにとって耳寄りな情報	
「マンモグラフィ検診施設画像認定」を取得しました	7
「血糖コントロール」	8
「体力の衰え、チェックしてみませんか??」	9
●外来診療担当医表	11
●セカンドオピニオン担当表	13

渋川医療センター薬薬連携研修会



薬剤師 中沢 亜弓

入院・在宅を通じ、患者さんに安全で最適な薬物療法を継続して受けていただくためには、保険薬局薬剤師と病院薬剤師が情報を共有し、連携することが重要です。薬剤部では、薬局薬剤師と病院薬剤師の間で顔の見える関係を構築するとともに、診療・治療に関する理解を深めることを目的とし、平成24年度から講義や症例検討を行う薬薬連携研修会を地域の薬剤師会と協力して開催しています。

平成29年度は、当院会議室において抗血栓薬に関連した内容をテーマに、3回にわたって研修会を開催しました。抗血栓薬は、狭心症や心筋梗塞、脳梗塞、人工弁置換術後、心房細動、静脈血栓塞栓症などの患者さんにできる血栓を溶かしたり、できにくくしたりする目的で使用される薬剤です。研修会第1回は、群馬県立心臓血管センター 中村紘規 循環器内科部長より心房細動と血栓塞栓症に関して、第2回は群馬大学医学部付属病院 小坂橋紀通 循環器内科部内講師より静脈血栓塞栓症に関して、第3回は沼田脳神経外科循環器病院 赤尾法彦 病院長より脳梗塞治療に関して、ご講演いただきました。いずれの回においても活発な意見交換や質疑応答が展開され、薬薬連携に求められる良好な関係性を築く場となりました。薬局薬剤師を対象に実施したアンケート調査では、理解が深まった、今後の業務に活かせる、などの好評をいただいた他、次年度の研修会に希望する内容など多くの意見をいただき、薬局薬剤師の実際の声を聞く良い機会となっています。

薬局薬剤師、病院薬剤師双方の意思疎通と情報共有は、情報伝達の不備による医療事故を防ぐための武器となります。また薬物療法では、患者さんが継続して薬剤を服用できるよう、病院と薬局の垣根を越えた支援が必要です。安全で継続した薬物療法の提供に繋がることを期待して、今後も薬薬連携強化に取り組んでいきたいと考えています。



「地域医療支援病院」の役割について

地域医療連携室長 水澤 秀行

当院は、平成22年3月26日付で群馬県知事より、渋川保健医療圏における「地域医療支援病院」の承認を受けています。

「地域医療支援病院」とは何か？について、少し噛み砕いて言いますと、当院（地域医療支援病院）と地域の診療所・クリニックなどが連携し、互いの役割を分担して、地域の中で医療を完結して行きましょう、ということになります。

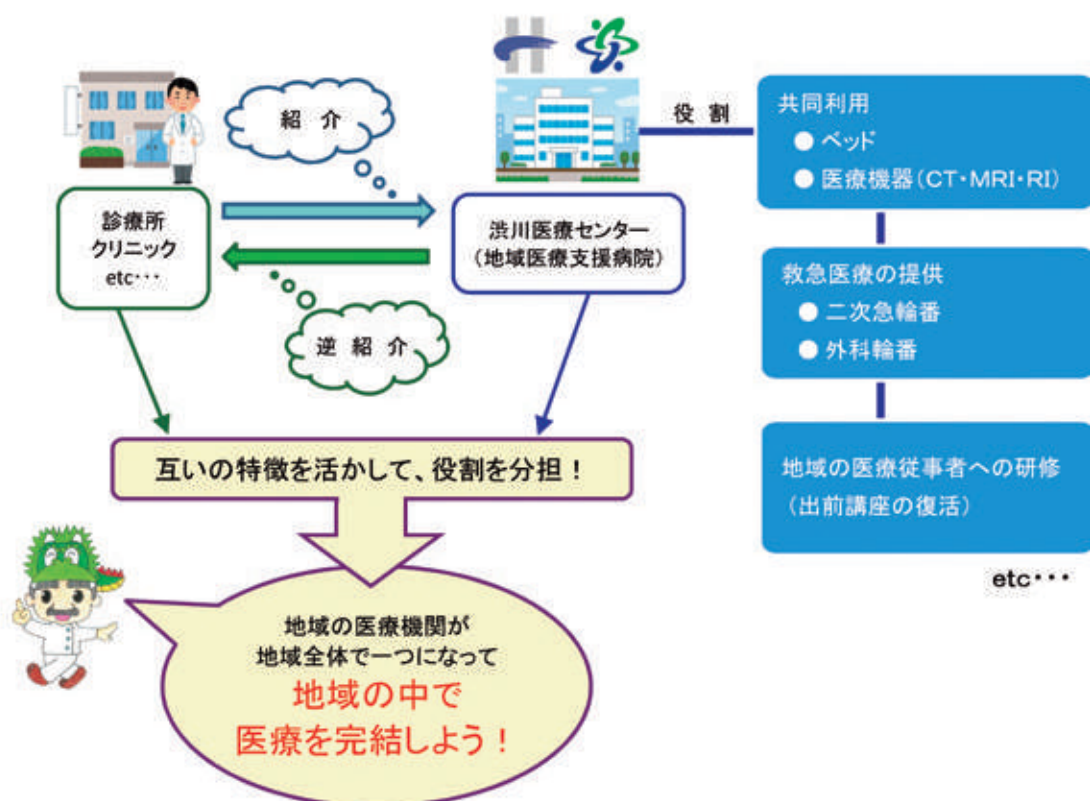
「役割の分担」を推進していくことで、それぞれの医療機関の特徴を活かし、地域の医療機関が地域全体で一つの病院となって、切れ目のない医療の提供が可能になります。

重篤・緊急を要する症状でない場合には、まずは、かかりつけの開業医等のお医者さんに受診していただく。そこで、詳しい検査や手術などが必要と診断された場合には、大きな医療機関に紹介し精査していただく。症状が緩和してきたら、かかりつけのお医者さんに戻り定期的に受診していただく。

進み行く高齢化社会に向けて、住み慣れた街や家で、より健康的で過ごしやすい地域・社会を目指していきましょう、という狙いもあります。

また、地域一体の医療機関を目指していく上で、地域医療支援病院のベッドや医療機器をかかりつけの先生方が共同で利用も出来ます。夜間や休日に救急で受診出来る体制の整備や、地域の医療従事者に対して、知識向上に向けた研修を行うことも重要な役割です。

これからも地域の皆さまからの声を取り上げ、皆さま方により安心・安全な医療を提供できるよう、当院の基本理念である「北毛地域の基幹病院として地域の医療機関と連携し、その役割を果たします」を実践し続けて参ります。



看護学生

インターンシップを開催して

5階東病棟 看護師 澤野 由香理

平成31年3月卒業予定の看護学生を対象とした第1回目のインターンシップを2月24日(土)に開催しました。インターンシップとは「学生に就業体験の機会を提供する制度」のことをいい、当院でも毎年行っています。

午前中は病院や看護部の概要、教育制度についてのプレゼンテーション、2年目看護師・先輩看護師との交流会が行われ、午後は体験したい科の希望に合わせて、各病棟で職場体験をしていただきました。



散歩の途中で一休み

複数の学校から8名の看護学生が集まり、学生同士も交流しつつ、プレゼンテーションや職場体験、現場で働く看護師との交流を通して、渋川医療センターの看護部についてより深く知っていただく機会となりました。

私は先輩看護師として参加し、当センターの魅力や、所属している5階東病棟の紹介などをさせていただきました。スーツ姿の学生たちはとても緊張している様子ではありましたが、真剣に話を聞いている眼差しに触れ、自分の看護師としての未来をしっかりと見据えた発言も飛び交い、今後の医療の現場で活躍するであろう、頼もしい未来の看護師の姿を知ることができました。

午後、学生たちも白衣に着替えて行われた職場体験では、病棟内の構造の紹介を行い、足浴などを通して患者さんとのコミュニケーションを取っていただきました。当センターでの実習経験のない学生もいたため、初めて見る清潔感のある病棟や、5階からの眺めの良さに感動している姿もあり、私自身が見慣れていた病棟の風景の魅力を再認識する機会となりました。

6時間という短い時間ではありましたが、現場で働く看護師の生の声を聞き、職場体験を通して、看護師の業務の実際に触れることができたのではないかと思います。



車いすですで病棟内を散歩

自分の就職する病院を決めるための、実習とは異なる気持ちでの病院での体験は、就職後の自分の姿をより強くイメージできるものとなったと思います。この体験が、残り一年の学生生活をより充実したものにする糧となっていれば幸いです。

立派な看護師となって、当センターに就職してくださることをお待ちしております。

～ボランティア活動紹介～

第2弾

学生さん(渋川青翠高校)からの贈り物♪

2017年12月、群馬県立渋川青翠高等学校の学生さんから心温まる贈り物をいただきました。

様々な柄のタオル帽子。「どれがいいかな？」と楽しそうに選ぶ患者さんの喜ぶ顔が浮かんできます。

当院ではボランティアの団体や個人からタオル帽子をお預かりし、抗がん剤治療で髪の毛が抜けるのを気にされている患者さんなど、治療を頑張っている患者さんへタオル帽子を無料で配布しています。

地域の学生さんが心を込めて作ってくれたタオル帽子を院内で患者さんへ配布する。直接顔を合わせるわけではないですが、地域と患者さんがタオル帽子で繋がっている。そんな思いを大切にしていきたいと思います。

☆タオル帽子は渋川医療センター1階サロン「やすらぎ」にて配布しています。



～ボランティア募集～

以下のボランティアを募集しています。興味を持たれた方はお気軽にご連絡ください。

「総合案内ボランティアさん」を募集しています。

活動日：平日の午前中 2時間程度

活動内容：外来患者さんの受診の案内や病院内のご案内 等

問い合わせ先：渋川医療センター医療福祉相談室 ソーシャルワーカー山浦まで



独立行政法人国立病院機構

渋川医療センター

群馬県渋川市白井 383 番地

0279-23-1010

看護の日イベント 「健康相談会」

日 時：5/11(金)10:00~14:00

場 所：道の駅「こもち」

健康測定：日頃の健康状態を測定してみましょう！

健康相談：健康についてなんでもご相談ください。

栄養相談：日々の食生活、改善してみませんか？



インターンシップ・病院説明会のご案内

看護学生(平成31年3月卒業予定者)・既卒看護師を対象にインターンシップ・病院説明会を以下の内容で開催します。熱意ある皆さまのご参加をお待ちしております。

■日 程 (第1回 2/24 第2回 3/18終了)

回	日 時	受付切	定 員
第3回	5月12日(土)10:00~16:00	5月7日(月)	30人
第4回	5月26日(土)10:00~16:00	5月18日(金)	30人

■対 象

第3回~第4回：平成31年3月卒業予定の看護大学・短大・専門学校学生の方
第4回のみ：既卒看護師(病院見学有り)

■内 容

時 間	内 容	
	新卒看護師	既卒看護師(第4回のみ)
10:00	受付開始(集合:9:50 正面玄関)	
10:10	オリエンテーション	
10:15	病院の概要・看護部の概要・教育制度	
11:00	1年目のあゆみ：2年目看護師 看護の魅力等：先輩看護師 座談会	病院見学
12:00	昼 食	終 了
13:00	更 衣	
13:15	職場体験	
15:15	更 衣	
15:30	説明会・質疑応答	
16:00	終 了	

インターンシップ参加の皆さん

■持ってくるもの

白衣・ナースシューズ(実習で使用しているもの)・名札。ワンピースの場合はストッキング(肌色)、ツーピースの場合は靴下(白)。※長い髪の方は職場体験ができるように、ひとつにまとめて来てください。

■その他

○職場体験先の希望をお聞きしますが、希望者多数の場合は抽選となります。

メールに1~5の希望をご記入下さい。

1. 外科系 2. 内科系 3. 重症心身障害児(者)病棟
4. 緩和ケア病棟 5. どこでもよい

○交通費・昼食代は自己負担です。

○昼食は各自で準備をしてください。当院の売店もご利用いただけます。

○自家用車でお越しの場合は病院職員駐車場をご利用ください。

■お申込み方法

メールでの申し込みをお願いします。(電話での受け付けはしていません。)**【担当者 副看護部長】**

○メールアドレス kangobu@sbmc.hosp.go.jp

○以下の内容を全てご記入ください。

- ①氏名(ふりがな) ②性別 ③大学・学校名 ④電話番号・メールアドレス ⑤職場体験希望部署(上記1~5参照)

病院説明会参加の皆さん(既卒看護師：第4回のみ)

■病院見学で院内をご案内します。歩きやすい靴でご参加ください。

■お申込み方法

メールでの申し込みをお願いします。(電話での受け付けはしていません。)**【担当者 副看護部長】**

○メールアドレス kangobu@sbmc.hosp.go.jp

○以下の内容(①~⑤)を全てご記入ください。

- ①氏名(ふりがな) ②年齢・性別 ③実務経験年数
- ④看護学校または大学卒業年 ⑤電話番号・メールアドレス

レジナビフェア2018スプリング東京に参加して

管理課 庶務係 保坂 薫

昨年度に引き続き3月18日（日）に開催されたレジナビフェア2018スプリングに参加いたしました。

こちらのイベントは医学生に向けた臨床研修病院の説明会です。

全国から約2400人（事前申し込み者数）の参加があり群馬県ブースにもたくさんの医学生が訪問してくださいました。

当院のブースには合計17名の医学生が訪問してくださり、他県出身・他県大学在学中の医学生が11名と過半数を占めました。47都道府県から376の参加施設がある中で11名の医学生が当院に興味を持っていたことはとても嬉しく思います。

平成29年度に臨床研修基幹型病院として始動し今年で2年目になりますが、去年は当院への見学希望者、研修希望者が平成28年度より増え認知度も上がってきていると実感いたしました。平成31年度の研修医募集人数は6名と平成30年度より増えますので今後はさらに国立病院機構 渋川医療センターの知名度を上げていきたいと思っております。



—患者さんにとって耳よりな情報—

「マンモグラフィ検診施設画像認定」を取得しました

診療放射線技師長 **笠原** 一

乳がん罹患数は年々増加傾向にあり、いまや16人に1人が乳がんにかかるといわれています。乳がん検診には、適切に撮影された「質の高いマンモグラフィ」が必要でありマンモグラフィが効果を発揮するには、高い撮影技術と高度な読影力が不可欠となります。更に、良い検診を受けるためには、専門的な認定を取得したマンモグラフィ撮影認定診療放射線技師・マンモグラフィ読影医師の教育・研修と使用する装置の精度管理が適切に行われていることも重要です。そこで判断材料のひとつとして、『日本乳がん検診精度管理中央機構』では、厚生労働省に認められた『マンモグラフィ検診精度管理中央委員会』の認定制度により、乳房撮影の画質、品質管理、被ばく線量が基準値を満たし、乳がん検診の質の高さを評価し「マンモグラフィ検診施設画像認定」を与えています。

渋川医療センターは、乳がん検診の精度維持・向上のため「マンモグラフィ検診施設画像認定」を取得致しました。



血糖コントロール

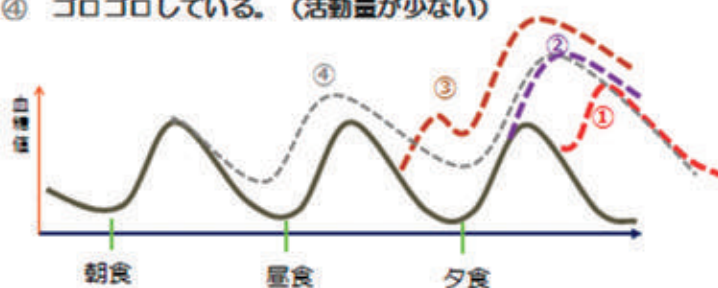
栄養管理室長 須永 将広

平成28年国民健康・栄養調査結果では、20歳以上の国民の4人に1人が「糖尿病が疑われる、もしくは、可能性が否定できない」と報告されており、「血糖値が気になる」という方も多いと思います。

血糖コントロールは、「規則正しい食生活」、「バランスの良い食事」が重要であることは言うまでもありませんが、この食生活と血糖値を「図」で考えてみると、非常に解りやすい（と思います）ので、紹介させていただきます。

食生活と血糖値を図にして考えてみると・・・

- ① 夕食後の果物・ジュース・アイス・菓子類
- ② 夕食の食べ過ぎ+飲酒 = 糖質過多
- ③ 15時のおやつ（菓子類など）の習慣的な摂取
- ④ ゴロゴロしている。（活動量が少ない）



まず、黒い線は、3食規則正しい食事をしている方の血糖値のイメージ図です。これをベースラインとして、よく「してしまいがち」な食生活の例を考えてみましょう。

①夕食後の果物・ジュース・おせんべいやお風呂上りのジュースなどは、①赤色の点線のような血糖値となります。

②夕食の食べ過ぎ+飲酒は、②紫色の点線のような血糖値となります。

③15時のおやつ（菓子類など）の習慣的な摂取は、③茶色の点線のような血糖値となります

④お正月など、食べて動かない（食っちゃ寝る）ような生活は、④グレーの点線のような血糖値となります。

このように、図で考えてみると、「3食規則正しい食事」が最も重要であることがお解りいただけると思います。

「バランスの良い食事」は、「血糖値の上昇をおだやかにする」とことと関係してきます。こちらについては、次回、紹介させていただきますので、お楽しみに♪

体力の衰え、チェックしてみませんか??

理学療法士・健康運動指導士 勝又 直

【私…衰えてる??】

人は、男女共に30歳を過ぎる頃から、普段から特別何か運動習慣がない限り体力が衰えはじめます。さらに、男性は50歳、女性は45歳頃から日常生活において衰えを感じると言われています。厳密に、「体力」と言っても防衛体力と行動体力とに分けられ、前者は風邪をひかないなどの免疫、発汗や体温調節などの代謝機能の調節、後者の行動体力とは、筋力・持久力・柔軟性などの運動機能を指します。今回は、行動体力についてお話したいと思います。

行動体力とは大きく3つに分かれます。はじめに、「行動を起こす能力」として、起き上がる、立ち上がるなど動作に必要な筋力や瞬発力です。次に「行動を持続する能力」として、筋持久力が挙げられ、歩き続ける力や日常生活において息が切れないなど、呼吸循環機能もこれにあたります。最後に「行動を調整する能力」として、柔軟性や平衡を保つためのバランス能力がこれにあたります。冒頭にも紹介したように、普通に、ただなんとなく生活していた場合には、この行動体力が加齢に従って低下し、日常生活を脅かすことにつながります。では、次に自身で行う衰えのチェックについてご紹介します。

【ロコモティブシンドロームとは??】

骨、関節、筋肉などの運動器の働きが衰えると、くらしの中で身の回りの事を自身で行う自立度が低下し、介護が必要になるなど、寝たきりになる可能性が高くなります。膝や腰等、身体が思うように動かせない、身体の障害のために介護を必要とし、要介護状態になる危険な兆候を、日本整形外科学会は平成19年、ロコモティブシンドローム（運動器症候群）という概念に総称しました。

このロコモティブシンドロームには、簡単に行える7つのチェック項目があります。

チェック

1 片足立ちで靴下が履けない



チェック

2 家の中でつまずいたり滑ったりする



—患者さんにとって耳よりな情報—

チェック

3 階段を上がるのに手すりが必要である



チェック

4 家の、やや重い仕事が困難である



チェック

5 2kg程度の買い物をして持ち帰るのが困難である



チェック

6 15分くらい続けて歩けない



チェック

7 横断歩道を青信号で渡りきれない



以上7つのチェック項目のうち、該当された項目はありましたでしょうか。実は、記した項目の1つでもあれば、それはロコモティブシンドロームに該当するのです。私たち働き世代にも、片足立ちで靴下を履けない方も居ます。そのくらい、日ごろの仕事を含む日常生活のみでは、知らず知らずのうちに筋力が衰え、老化が進んでいるのです。ここまでくると、え？どうすればいいの？など声が聞こえてき

そうですね。次に、「何をすればいいの？」と思われるかもしれません。

今回はワンポイントアドバイスとして、「一日の活動量を上げること」と提案します。健康指標として20年ほど前までは、「一日1万歩」と提唱された時代がありましたが、現在では一日の歩数ではなく、「活動量」という言葉を用います。簡単に説明すると、「一日にどれくらい動いたかという指標」です。具体的に言うと、元気な人ならば一つ手前のバス停で降りて歩く事や、家から15分以内で歩けるところは車を使わず歩いていく。スーパーなど、買い物では一つ上の階へは階段で上がるなど、日常生活において体を動かす要素を少しでも取り入れる事が大切です。

以上、今回は体力の衰えを7つのチェック項目で知ることを紹介しました。次回は、どんな運動をご自宅ですると効果的な健康づくり（体力づくり）につながるかについて、お話ししたいと思います。

最後に、リハビリテーション科一同、渋川市近郊をはじめ、北毛地域の皆様の健康を支援する機会となれば幸いです。



渋川医療センター外来診療担当医表

診療科	時間帯	月	火	水	木	金
総合診療科	午前	アクザワ ノブヒロ 阿久澤 暢洋	アクザワ ノブヒロ 阿久澤 暢洋	アクザワ ノブヒロ 阿久澤 暢洋	アクザワ ノブヒロ 阿久澤 暢洋	アクザワ ノブヒロ 阿久澤 暢洋
	午後 (予約)	アクザワ ノブヒロ 阿久澤 暢洋				アクザワ ノブヒロ 阿久澤 暢洋
呼吸器内科	午前	オオサキ タカシ 大崎 隆	イイジマ ヒロノブ 飯島 浩宣	ヨシイ アキヒロ 吉井 明弘	ジングウ アスカ 神宮 飛鳥	クワコ トモヒト 桑子 智人
	午前	ヨシイ アキヒロ 吉井 明弘	オオサワ ショウ 大澤 翔	ツチャ ユキコ 土屋 友規子	サクライ レイコ 櫻井 麗子(群大)	ワタナベ サトル 渡邊 寛
	午前	サイトウ リュウセイ 斎藤 龍生	スナガ ノリアキ 砂長 則明(群大)	サイトウ リュウセイ 斎藤 龍生	マスタ トモミ 増田 友美(群大)	オノ アキヒロ 小野 昭浩
内分泌・代謝内科 内 科	午前	カサイ ユウコ 笠井 裕子(群大) (内分泌・代謝内科)		オオサキ アヤ 大崎 綾(群大) (内分泌・代謝内科)	カワシマ チエコ 川島 智恵子 (内 科)	ヨシノ サトシ 吉野 聡(群大) (内分泌・代謝内科)
循環器内科	午前	ヤマギシ トシハル 山岸 敏治	ヤマギシ トシハル 山岸 敏治 (第1.3.5週)	ヤマギシ トシハル 山岸 敏治	クマクラ ヒサオ ★熊倉 久夫(北関) (第1週 13:30~)	ヤマギシ トシハル 山岸 敏治
	午後		イワサキ トシヤ 岩崎 俊弥(北関) (第2.4週)		ナカシマ クニキ ★中島 邦喜(北関) (第3週 13:30~)	
神経内科	午後			ヤナギサワ タカユキ 柳澤 孝之 (第1.3.5週13:30~)		
小児科 (重心のみ・予約制)	午前		イシキタ ナオユキ 石北 直之(重心)	イシキタ ナオユキ 石北 直之(重心)	イシキタ ナオユキ 石北 直之(重心)	
	午後			シミズ ノブソウ 清水 信三(重心)		
血液内科	午前	ミハラ マサヒロ 三原 正大	イソダ アツシ 磯田 淳(予約)	マツモト モリオ 松本 守生	マツモト モリオ 松本 守生	ミハラ マサヒロ 三原 正大
	午後 (予約)		オガワ ヨシユキ 小川 孔幸(群大) (第2週)			
	午前	イソダ アツシ 磯田 淳	タハラ ケンイチ 田原 研一	タハラ ケンイチ 田原 研一	イソダ アツシ 磯田 淳	アカシ ナオキ 明石 直樹
	午前	オオサキ ヨウヘイ 大崎 洋平(群大)	サワムラ モリオ 澤村 守夫	ミハラ マサヒロ 三原 正大	タハラ ケンイチ 田原 研一(予約)	
消化器内科	午前	ナガシマ ヨシミ 中島 良実(群大)	ナガシマ タモン 長島 多聞	ヤマザキ ユウイチ 山崎 勇一(群大)	アライ ヨウスケ 新井 洋佑	フルヤ ケンスケ 古谷 健介
	午前		カナヤマ ユウキ 金山 雄樹(群大)	ウエハラ タイスケ 植原 大介(群大)	カキザキ サトル 柿崎 暁(群大)	アダチ タクヤ 安達 拓也
緩和ケア科 (予約制)	午後	コバヤシ ゴウ 小林 剛		コヤ ヒロコ 小屋 紘子	コヤ ヒロコ 小屋 紘子	コバヤシ ゴウ 小林 剛
精神腫瘍科 (予約制)	午後	マジマ タケヒコ 間島 竹彦	マジマ タケヒコ 間島 竹彦		マジマ タケヒコ 間島 竹彦	
放射線治療科 (予約制)	午前	ナカムラ ユウジ/マツウラ マサナ 中村 勇司/松浦 正名	ナカムラ ユウジ 中村 勇司	マツウラマサナ/クワコケイコ 松浦正名/桑子慧子	ナカムラ ユウジ 中村 勇司	ナカムラユウジ/クワコケイコ 中村勇司/桑子慧子
	午後		マツウラマサナ/クワコケイコ 松浦正名/桑子慧子		マツウラマサナ/クワコケイコ 松浦正名/桑子慧子	
麻酔科	午前		ウチハシ ヨシタカ 内橋 慶隆			ウチハシ ヨシタカ 内橋 慶隆

外来受付時間 8時30分～11時00分 注) 担当医変更の場合もございますので、予めご了承ください。

※整形外科は初再診にかかわらず、原則完全予約制です。(平成29年5月25日より)

※原則、午後は予約診察のみとなりますが、★印の診察については受付時間は15:00までとなります。

※(予約)と記載がある場合は、予約患者さんだけの診察となります。

※再診予約の方については16:00まで再来受付機での受付が可能です。

診療科	時間帯	月	火	水	木	金
外科(消化器)	午前	マキタ フジオ 蒔田 富士雄	ヨシナリ ダイスケ 吉成 大介	コバヤシ ミツノブ 小林 光伸	マキタ フジオ 蒔田 富士雄	タナハシ ヨシフミ 棚橋 美文
	午後				スケガワ シンサク ★助川 晋作 (肛門科・消化器外科) (第1.3.5週 13:30~)	
	午前		タナハシ ヨシフミ 棚橋 美文		タカハシ ケンゴ 高橋 研吾	
外科(呼吸器)	午前	ナガシマ トシテル 永島 宗晃		カワシマ オサム 川島 修		カワシマ オサム 川島 修
脳神経外科	午前	ゴウダ ツカサ 合田 司	タカハシ アキオ 高橋 章夫	ゴウダ ツカサ 合田 司	タカハシ アキオ 高橋 章夫	ゴウダ ツカサ 合田 司
	午後			ミヤギシマ タカアキ ★宮城島 孝昭(群大) 14:00~		イベ ヨウコ 伊部 洋子(群大)
	午前		ヒラト マサブミ 平戸 政史	ヒラト マサブミ 平戸 政史	ヒラト マサブミ 平戸 政史	
	午後 (予約)		ヒラト マサブミ 平戸 政史		ヒラト マサブミ 平戸 政史	
整形外科 (予約制)	午前		イツカ ヨウイチ 飯塚 陽一(群大)		ヤナガワ タカシ 柳川 天志(群大)	
	午後		イツカ ヨウイチ 飯塚 陽一 (群大)	オカムラ コウイチ 岡部 興一(群大) (第1.3.5週) オモダカ タクヤ 面高 拓矢(群大) (第2.4週)	ヤナガワ タカシ 柳川 天志 (群大)	
	午前	カヤカベ マサトモ 加家壁 正知	カヤカベ マサトモ 加家壁 正知		カヤカベ マサトモ 加家壁 正知	
泌尿器科	午前	タムラ ヨシミ 田村 芳美	タムラ ヨシミ 田村 芳美	オカベ カズヒコ 岡部 和彦 (第1.3.5週)	タムラ ヨシミ 田村 芳美	カトウ ハルオ 加藤 春雄
	午後 (予約)	タムラ ヨシミ 田村 芳美	タムラ ヨシミ 田村 芳美	カトウ ハルオ 加藤 春雄 (第2.4週)	カトウ ハルオ 加藤 春雄	タムラ ヨシミ 田村 芳美
	午前 10:00まで	カトウ ハルオ 加藤 春雄	カトウ ハルオ 加藤 春雄	タムラ ヨシミ 田村 芳美	カトウ ハルオ 加藤 春雄	タムラ ヨシミ 田村 芳美
耳鼻咽喉科	午後	マツヤマ トシユキ ★松山 敏之(群大) (14:30~)				
皮膚科	午前	ヤマナカ マサヨシ 山中 正義	ヤマナカ マサヨシ 山中 正義	ヤマナカ マサヨシ 山中 正義	ヤマナカ マサヨシ 山中 正義	アオヤマ クミ 青山 久美
	午前	アオヤマ クミ 青山 久美	キム チャイン 金 滋仁(群大) (第2.4週)	アオヤマ クミ 青山 久美	アオヤマ クミ 青山 久美	
甲状腺科	午前	ヨコタ トオル 横田 徹	ヨコエ タカオ 横江 隆夫	ヨコタ トオル 横田 徹		ヨコエ タカオ 横江 隆夫
	午後 (予約)			ヨコタ トオル 横田 徹		
乳腺科	午前	ヨコエ タカオ 横江 隆夫	ヨコタ トオル 横田 徹	サトウ アヤコ 佐藤 亜矢子		ヨコタ トオル 横田 徹
	午後 (予約)		ヨコタ トオル 横田 徹			ヨコタ トオル 横田 徹
乳腺・甲状腺科	午前	サトウ アヤコ 佐藤 亜矢子	サトウ アヤコ 佐藤 亜矢子	ヨコエ タカオ 横江 隆夫		
眼科	午前	タカヤマ マユコ 高山 真祐子(群大)	タカヤマ マユコ 高山 真祐子(群大) (偶数月)	群大 ローテーション		
	午後 (予約)		ムカイ リョウ 向井 亮(群大) (奇数月)			
	午前	ムカイ リョウ 向井 亮(群大)				

セカンドオピニオン担当表 (平成30年4月1日現在)

科 別	予約時間	月	火	水	木	金
呼吸器内科 (肺腫瘍)	午後3時30分～	斎藤 龍生	—	斎藤 龍生	—	—
呼吸器外科	午前中	川島 修	—	—	—	—
血液内科	午後2時～	松本 守生	—	—	磯田 淳	—
乳腺・甲状腺外科	午後2時30分～	横江 隆夫 (午後～)	—	横田 徹	—	—
消化器外科	午後	蒔田 富士雄	—	小林 光伸	—	—
放射線科	午後3時～	—	—	松浦 正名	中村 勇司	—
緩和ケア科	午後	小林 剛	—	—	—	小林 剛
皮膚科	午後	山中 正義	—	—	—	—
泌尿器科	午後3時30分～	—	—	—	—	田村 芳美
脳神経外科	午後	—	—	宮城島 孝昭	—	—

※対象者:原則として患者さん本人、患者さんの同意を得た家族 費用:30分毎に5,400円

※お問い合わせ先:TEL0279-23-0626 地域医療連携室(直通)

患者さんの権利

1. 最善の医療サービスを受ける権利
2. 人格・人権を尊重される権利
3. 知る権利
4. 自己決定権
5. プライバシーを保護される権利

がん相談支援センター

- がんに関するご相談は「がん相談支援センター」でお受けします。
担当:ソーシャルワーカー(尾方・山田・山浦・落合)
電話:0279-24-9229(直通)
(受付時間は平日8:30～17:15です)
- メールによるご相談は、下記にて終日受け付けておりますが、回答は若干の日数を要する場合がございます。
E-mail:shibukawamc@hosp.go.jp

看護の理念 患者さんの立場に立ち、心あたたかく、信頼に応える看護を提供します。

看護の基本方針

1. 患者さんの気持ちを大切に、思いやりとまごころ込めた看護を提供します。
2. 患者さんと共に考える看護の実践により患者さんが自ら意思決定が行えるよう支援します。
3. 地域の人々と連携を図ることで患者さんの生活の質の維持向上に努めます。
4. 患者さんの尊厳と権利を尊重した質の高い看護を提供します。
5. 看護の専門性を追求し、根拠に基づいた安全で安心な看護を提供します。

編集後記

残雪の山々を望み白井の宿にも春が訪れました。

当院では、多くの新人を迎え新年度がスタートします。4月2日に斎藤院長より辞令交付が行われ、臨床研修医、看護師など40名の新卒者が社会人としてスタートし、異動者を含めそれぞれの志のもと新たな業務に付きまますのでよろしくお願いたします。

ウィズでは引き続き渋川医療センターの活動と地域の皆様のお役に立てる医療情報を掲載してまいります。(T・K)



独立行政法人 国立病院機構 渋川医療センター

〒377-0280 群馬県渋川市白井383番地 TEL 0279-23-1010 (代) FAX 0279-23-1011

<http://www.hosp.go.jp/~shibukawamc>